

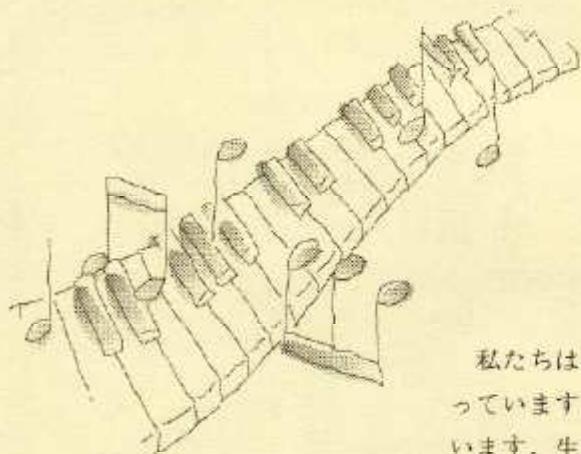
MICC通信

Mikawa Interior Coordinator Club

創刊号

MICC会長

MICC通信創刊号に寄せて 千木良万里



MICCの新聞を作りました。当面の目的は一つ。ふだん忙しくてMICCの活動に参加できない会員の為に、MICCの活動をお知らせすることです。会費を払うだけではつまらない、と思いませんか。もっと皆さんに出て来て欲しい、と思います。たまには「はづれ」もあるかもしれません、おおむね、何か得るところがあるように企画しています。仕事の上ではライバルでも、友達付き合いできるのはMICCのこと。人間どうし、考えていることにそれほど差がある訳ではありません。

私たちはインテリアに関わっている、という点で共通したものを持っています。一人一人の人間の存在そのものに深く関わる仕事をしています。生きて行く上での“環境”とはとても大事なものです。人が人間らしく、そして自分らしく過ごせる空間を作る、それが私たちの仕事です。きれいごとでは無い、本物の空間を作っていくたい、そんな仲間と切磋琢磨すれば、力を合わせれば、もっと良いものができる、と思いませんか。単なる交遊の場としてのMICCでは無く、個々のICの仕事に深く関わる媒体としてのMICCにしていきたいと考えています。

MICC通信がその為の一助になれば、と願います。

予告・これからの中ICC活動内容

1月23日(木) pm 7:00~9:00 新年会 ホテル白豊

2月20日(木) 研修会 No.9 小泉産業(株)

pm 7:00~8:30 カリオンビル

4月20日(日) インテリア・フォーラム

講師：光藤タカ子（グリーン・コーディネーター）

研修会

ソーラーサーキット住宅
と耐震金物

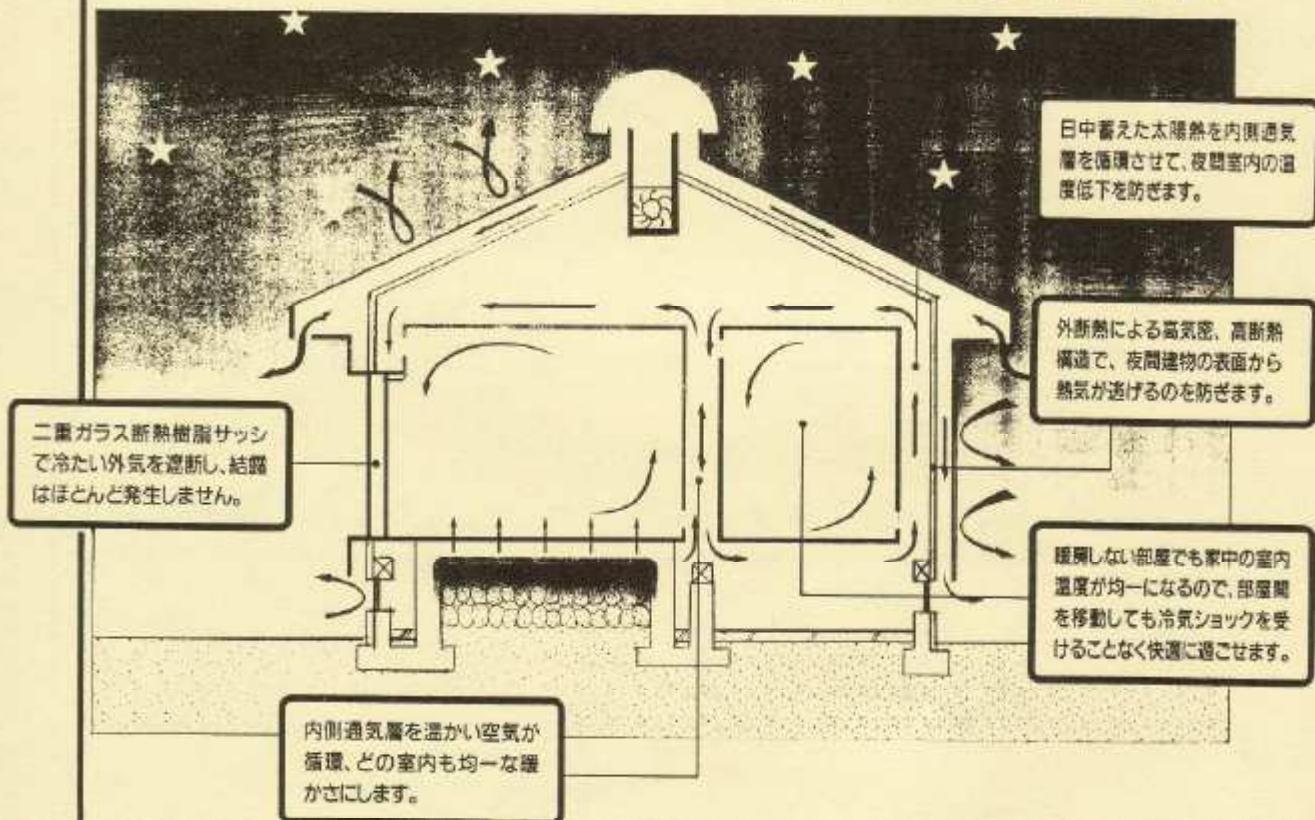
96. 9. 17
カリオンビル

ソーラーサーキット住宅について、中部住宅販売㈱の方に、ビデオを見せて頂きながらお話を伺いました。



”夏涼しくて、冬暖かい家” えー本当にそんな家があるの？初めは、半信半疑でお話を聞いていました。しかし、昭和62年から豊橋技術大学と共同開発されて来たことや、実験用の家を建て、1つの実験に1年かけていたこと。また、システムなどの説明を聞いていると想像以上に快適な家の様な気がします。是非とも、住み心地を体験してみたい！そんな住宅でした。

Winter NIGHT 冬の夜



澤木祥子

研修旅行

96. 10. 11
/
10. 14

1 日目	名古屋発、福岡着	イルバラツォ泊
2 日目	有田、伊万里、唐津	洋々閣泊
3 日目	由布院	亀の井別荘泊
4 日目	大分発、名古屋着	



とにかく中身の濃い旅でした。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

今年の研修旅行は、三泊四日の豪華版。とにかく中身の濃い旅でした。

福岡到着後、さっそくグランド・ハイアットへ直行して昼食。まずはビールで乾杯をして、いよいよ九州旅行の幕開けです。

名物も食べたいし、素敵なお店も覗きたい。勉強と実益を兼ね、この日は4軒飲み歩いてしました。

唐津では『唐津くんち』のお祭が再現され、丁度タイミング良く見ることができました。

というのも、次の移動の関係で『くんち』は諦めていたのですが、列車を待っているホームから見えるではありませんか。発車までの短い間でしたが、お祭り情緒も楽しめました。却って、一気に駆けぬけていく曳山を見るには、最高の場所だったかもしれません。

最終日は由布院です。亀の井別荘は、期待を裏切らず、広大なお庭の中に『離れ』が点在していて、風情を楽しみながらゆっくりと

一日が過ごせます。お部屋に案内された途端、その素晴らしい空間にあちこちで歓声が沸き上がり、写真撮影会が始まった程でした。

最後まで内容が盛りだくさんであったのにもかかわらず、由布院では、本当にゆっくりできました。

これはなんと言っても、プランのたて方が良かったんだと思います。かけ足であちこち廻った後に、最後に温泉！しっとりと小雨に濡れた木々を見ながら、露天風呂で心と体の疲れを癒す。あまりにリラックスして、帰るのも忘れてしまいそうでした。

空間を贅沢に使っているせいか、ここにいると時間の流れさえ止まって感じられます。“でしゃばらず、自然と調和している”そんな雰囲気が、また、人の心を和ませるのでしょうか。

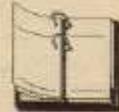
今回の訪問先は、どういう訳かいくつかの雑誌等で取り上げられており、旅行中から目にしました。それを見て、今更ながら、この旅行の素晴らしいところをかみしめるのでした。

鈴木佳子





研修旅行記



久々に乗る飛行機に子供のようにウキウキしながら、また、この旅行がどんな旅行になるか期待しながら、空港に向かいました。少しだけあった不安も、空港で皆さんと合流したとたん、無くなってしまいました。

MICCの旅行に参加するのは昨年に統いて2回目ですがいつも感じるのは、企画の素晴らしさです。今回は、今ノリにのっている都会的な街福岡、わび、さびが感じられる有田・唐津、観光地らしい観光地だが一味違う由布院と3泊4日の毎日が刺激で一杯でした。

由布院の亀の井別荘はひとつ、ひとつ違った雰囲気のある部屋づくり、心温まるもてなしなど、決して安くない宿泊費ではありますが、それを高いとは感じさせませんでした。これは、形の無いソフトを提供する私たちの仕事と共通するものがあります。お客様をいかに満足させるか…。考えさせられました。

今回の旅行を企画し、現地でもいろいろ世話をして下さったスタッフの皆様には改めてお礼を申し上げます。すばらしい旅行をありがとうございました。次回も期待しています。

杉浦恵津美

由布院に着くと、文化とアートの街を象徴するかのような、駅の超モダンなデザインにまず感心させられる。あいにく雨が降っており、早速タクシーで今日の宿泊先である亀の井別荘へ向かった。そこに着くと、緑の中で静かに佇んでいる茅葺き屋根の建物が、私たちを迎えてくれた。そのまま離れ屋の宿泊棟へ案内される。部屋は贅沢なくらいのスペースで構成されており、庭も一望できる。とても贅沢だけど、どこか懐かしいような、このまますっとくつろいでいたいような思いにさせてくれる。名旅館でありながら、肩肘張ることなく、まるで自分の家に帰ったような気楽さがある。あるじのこの旅館に対する想いが伝わってくるようだ。

宿泊棟の反対側には、食事処・湯の岳庵や売店・鍵屋がある。ここには、この家伝来の味を土産に仕立てた品々の他、ガラス工芸品や陶器等が売られているが、他の観光地に見られるありきたりな土産品は見られない。これは、由布院のほとんどの店に共通している。その家伝来の、又はその店の創意が凝らされた品、若しくは独自の判断で選ばれた品々のみを扱っている。由布院にはそういう確固としたポリシーが根付いているようだ。

翌日、由布院を散策した。午後には帰らなければならぬ。残された時間をフルに動き、民芸村やガラス美術館、少し足を延ばして空想の森美術館等を見学して回った。

とにかくこの4日間、あれもこれもと、とても欲張りな日程だったが皆それぞれに実りある旅であったと思う。

来年はどこへ行くのか？今から楽しみである。

杉浦勝江

見どころ 紹介

キャナルシティ博多

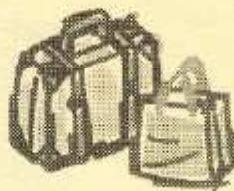
1996年4月オープンしたばかりの巨大複合施設。物販・飲食の専門店街、アミューズメント施設シアタービル、ふたつのホテル、劇場、オフィスなどの複合機能とともに、敷地の中央には、運河（キャナル）が流れるオーブンモールを備えた大規模なもの。歩いていくと、さまざまな色彩の建物が、建物の隙間から現われる。噴水も打上げ花火のようで楽しい。

ホテル イルバラツツオ

ホテル建物はイタリアのアルド・ロッシ、インテリアデザインは内田繁、4つのバーも各々の有名建築家、デザイナーによるもので、たいへんイタリアっぽく、アーティスティックな空間。

旅館 洋々閣

和風の落ち着いた旅館で、松のお庭と、和風の建物の調和が美しい。陶芸家中里隆氏のギャラリーがあり、ゆっくりした時間が楽しめる。



中里隆陶房 隆太窯

静かな山あいにある陶房。ろくろを引くところや、登窯など、やきものの好きな方は、一度訪れて見たいところ。

松下貴裕

- ① 横幅より生まれる小林 哲同じ 匠の技に 不思議な感動
- ② 墓立地 スカイホークと ドーム建ち 集まる人は 築の日暮の日
- ③ 名旅館 今年もやっぱり 一度きり 味わい深し 八つ裂き松茸

前田恵美子

「見慣れぬ色彩」が目に飛び込んできた福岡。北国生まれの私にとっての九州は、アジアに最も近い日本です。どんなふうに近いのか、とても楽しめた旅行でした。

キャナルシティ、シーホーク等、短い時間での町、建物の印象は、「豪華な色調」でした。

気候、風土はもちろん、アジアに近い事も、その要因にあるのではないかと、一人納得した旅行でもありました。

古澤三喜子

コーディネーターは目利きでなければならない、と誰かが言いました。本当にその通りだと思います。目利きになるにはどうするか、良いものをたくさん見ること、それに尽きます。結局この旅行の目的は“良いものをたくさん見ること”。今回も十二分にその目的を果たしました。

千木良

“五つ星旅館”なのに気取りがなく、とても意心地の良い亀の井別荘。すっかりとりこになってしまいました。又、行きたいなあ～。

原田ひろ子

ご参加頂いた皆さんの期待に答えられるか事前より心配していましたが、旅行後のスライド映写会で皆さんの笑顔を見た、本当にホッと致しました。宿はもちろんのこと、赤松町の町並、唐津の山に抱かれた隆太窯など印象的な風景が深く心に残りました。

清水まゆみ

他の方より1日早く帰って来たので、行かれた方達が、絶賛している亀の井別荘に泊まれず、残念！でも、キャナルシティ、シーホークホテル、アクロス福岡など話題の建物をじっくり見ることができ、満足でした。

薄木祥子

九州の素敵な建物にもふれる事ができ、おいしいものもたくさんいただき、あたたかい人々にもめぐり逢えて、ゆっくり温泉にもつかり、本当に贅沢な心なごむ4日間の旅でした。そして愉快な皆様と一緒にできることができる、何と楽しかったこと！おかげ様で底をつきそうになったエネルギーも充分ストックする事ができました。

平井か津子

研修会

96.11.14

カリオンビル

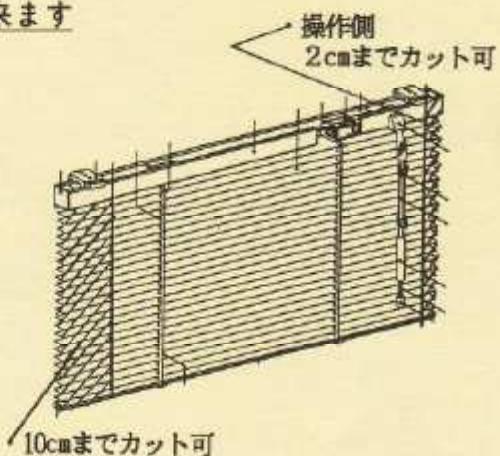
ブラインド特集

スーパー・ポール すっきり！便利？！

コードとロッドが一体になったもので出始めの頃のものは使用しているうち下までスムーズに降りてこなかつたりしたが、今は改良されているとのことです。（ニチベイ）

又、開閉と昇降が別々の単純なものが、良いとの声も。

巾詰め出来ます



スラット二重押さえ

ブラインドを丸洗いしたらスラットが二枚づくつついてしまつて大変…。「浴室用のものは少し高いけど、スラット二重押さえなのでお客様に説明をして普段の所でも使用していますよ」と、会員の日さん。なるほど。

補修部品有り！

スラットの掃除をしていて、つい曲げてしまったなんてこと、よくありますよね。そんな時は、□の形をした補修部品で直せます。（タチカワ）
(ちょうど傘骨を直すみたいに)

ブラインドクリーニング

しっかり汚れてしまったブラインドを前に「いっそ、どこかのクリーニングに出そうかしら」とお思いのあなた。（実はワタシです）メーカーでもクリーニングをするそうなんですけど、料金がなんと、なんと8割ほど！
まめな手入れで汚れを溜めないことデス。

クレームや否や

たとえば、ブラインドをスッと降ろした時、スラットがバラバラの方向になっている。それを一度ロッドで揃えるという操作はメーカーにとってはなんでもないことが、ユーザーからは“クレーム”でした。こと、他メーカーがスムーズだったのですから。これに似たような経験有りませんか？

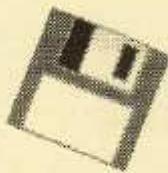
原田ひろ子

特別セミナー

インターネット講習会

196. 11. 28

横中部 本社ビル



インターネットの研修を終えて

以前から友人にも誘われていたのですが、なりふん機械オーナーの私の事、ワープロ、パソコンと聞いていただけで今までにはもう無理と決め込んでいた様な状況でした。ですから今回の研修の案内をいただいた時も、迷いに迷いこわごわというかおそるおそるというか、そんな気持ちで参加させていただいたのです。ところが、横中部の方々の丁寧な指導をいただくうち、情報に関しては驚く程多くのものが得られ、尚、項目別に選択できたり、電子メールで送る事ができたりとどんどん情報の幅が広がっていく事の便利さを実感いたしました。私にとって使いこなせる様になるまでにはまだまだ課題がある様に思いますが、少し先の先の方にかすかではありますが、光が見えて来た様に思います。ありがとうございました。

平井か津子





三河インテリアコーディネータークラブ
〒440豊橋市西小鷹野2-5-5 カーサ小鷹野A-101
TEL 0532-64-2470 FAX 0532-64-2475

編集後記

*はじめての通信は、研修旅行もあって盛りだくさんになりました。

みなさん原稿ありがとうございます。又、パソコンを操って、通信らしく

まとめた澤木さんの編集力に感嘆するだけの私でした。 原田

*気取りのない、親しみある通信にしたい。原田さんとそんな思い

で取り組み、皆さんのご協力があってできたMICC通信です。

会員の皆さんに、読んでいただけたらと思っています。 澤木

